



Contents

- ・【巻頭エッセー】魔法のトビラ … 長島剛子 ●表紙
- ・Welcome to our Library ●2～3
- ・【修論報告】
ナラティブ分析によるボリス・ヴィアン作品の研究
… 衛博 ●4～5
- ・風景の中で④ … 図書館長 井上郷子 /
資料の部屋④ … 高橋京子 ●6
- ・2019年度ばるらんど総目次 ●7
- ・Information ●8

Parlando

ばるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

No. 306

【巻頭エッセー】魔法のトビラ

長島 剛子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから4年間素晴らしい時間が過ごせることを願っています。

さて私もかつてここで学びました。沢山の思い出は短い紙面では語りつくせませんが、その中で図書館はいつも私の小さな知的好奇心を満たすべく、キャンパスの一番奥に静かにたたずみ魔法の扉を開いていました。

入学してしばらく経った頃、図書館である歌曲の楽譜を探しました。中学生の頃初めて買ったレコードで、エリー・アメリックというソプラノ歌手が歌うオランダ語の曲でしたが譜面が無く、サビの部分を口ずさむしかなかったのです。「そうだ、図書館にあるかもしれない!」と思い調べてみたところ、程なくその楽譜が見つかりました。すぐに貸出手続きをし、寮のボックスで最初から歌ってみた時の感激はひとしおでした。

また視聴室では毎日のように沢山の録音を聴きました。当時はレコードを借りて自分の部屋でゆっくり聴くことは出来なかったですし、ましてやナクソス等の配信サービスもなかったのです。図書館の視聴室は身近に音楽が聴ける唯一の機会を与えてくれていたのです。声楽曲だけではなくピアノ曲も好きでした。ショパンのレコードを片っ端から聴いては満足していたのですが、だんだん物足りなくなり、実際に弾いてみたくなりました(何と無謀!)。スケルツォ集の楽譜を借り出し、春休みを利用して第1番から練習を始めました。帰省先の札幌の実家で家にいるときは一日中ピアノの前で格闘し、少しだけ弾け

ようになりました。「ピアノばかり聴こえるけど、歌はやめたの?」と母から皮肉を言われ、内緒にしていたのですが、その後軽い腱鞘炎になってしまうほどピアノの練習に夢中になった変わった学生でした。

その後大学院に進み、図書館で慣れない論文作成に奮闘していた時、ある画集⁽¹⁾が目にとまったのです。ページをパラパラめくり、初めて見る抽象画に妙に惹かれました。今まで全く知らなかった世界に私を引きずり込むような不思議な力を持ったその絵は、カンディンスキーという画家の作品でした。それから彼の絵に夢中になり、絵ハガキを集めアパートの小さな部屋に飾り毎日眺めていました。自分の研究テーマであったR.シュトラウスと同時代を生きた画家だったことはその頃はあまり気が付いていなかったのです。その後ヨーロッパに留学しミュンヘンやパリの美術館で本物の絵を見て、彼と親交が深かった作曲家シェーンベルクと新ウィーン楽派の音楽へと興味の対象が広がっていきました。私が現在演奏活動の中心に据えている20世紀歌曲に対する関心は、くにおん時代に始まっていたのです⁽²⁾。

(1) ワッシリー・カンディンスキー / フランソワ・ル・タルガ著
(現代美術の巨匠) 美術出版社 請求番号●R723.01911V

(2) 架空庭園の書: 新ウィーン楽派の歌曲を集めて
ALM Records 請求番号●XD70777

●ながしま たけこ 本学教授(声楽)